

平成 28 年度 第 8 回

三重県伊勢志摩サミット推進本部会議

事項書

日時 平成 29 年 3 月 14 日 (火)

9 : 50 ~ 10 : 00

場所 プレゼンテーションルーム

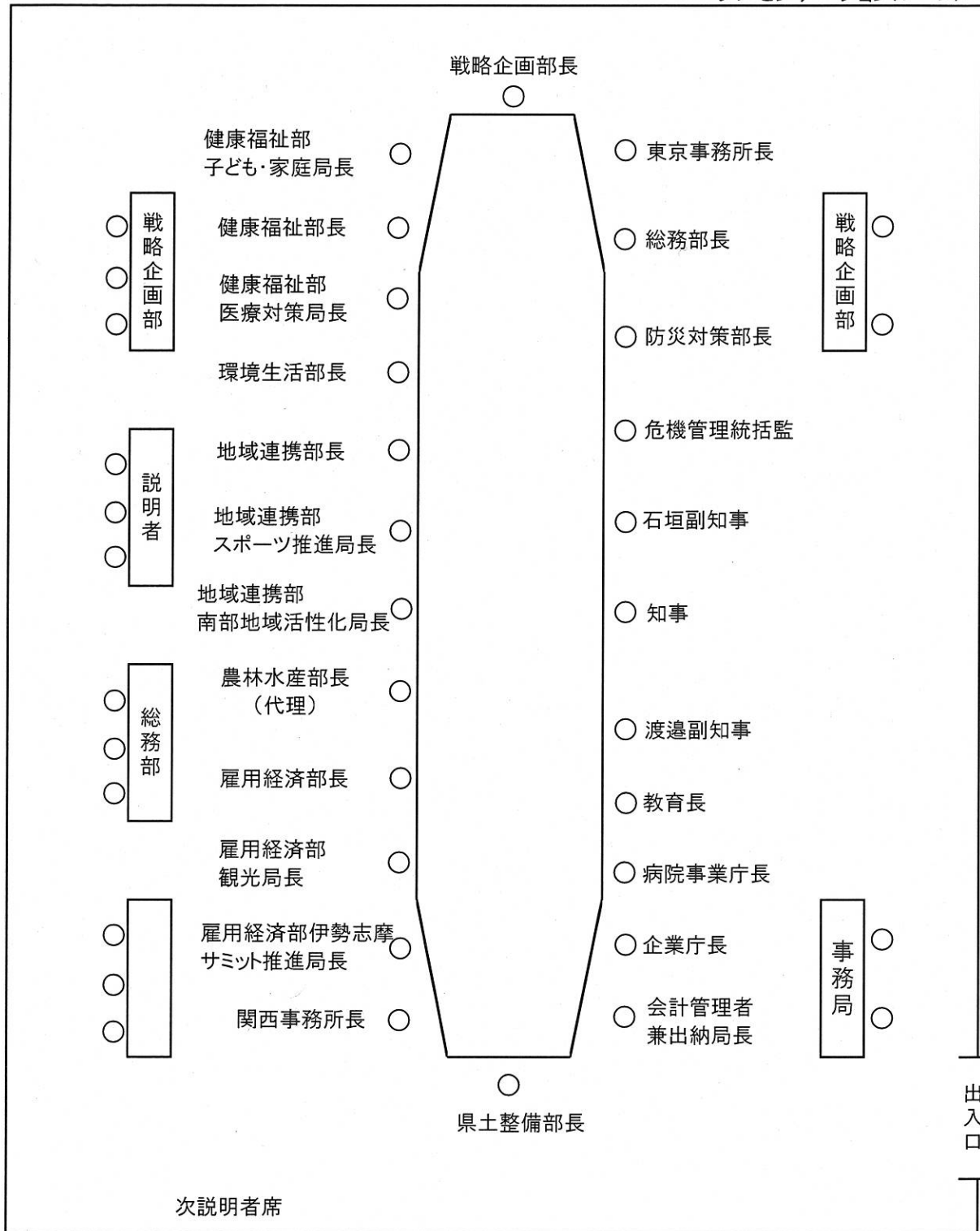
1 伊勢志摩サミット推進局からの報告【資料 1】

(1) 伊勢志摩サミット記念館 (仮称) について

(2) 伊勢志摩サミット・アーカイブ事業について



平成28年度第8回伊勢志摩サミット推進本部会議(3月14日)座席表  
 プレゼンテーションルーム





平成29年3月14日

サミット総務課

## 伊勢志摩サミット推進局からの報告

### 1 伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

#### （1）伊勢志摩サミット記念館（仮称）の整備

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を賢島駅2階に設置します。オープンは、平成29年5月下旬の予定です。

詳細は、別紙1のとおりです。

#### （2）愛称の募集

記念館の正式名称（伊勢志摩サミット記念館（仮称））とは別に、愛称の募集を2月8日（水）から3月8日（水）まで行いました。審査の上、4月下旬に愛称を発表する予定です。

#### （3）内覧会、オープン時の式典の実施

記念館のオープン時には、式典を実施する予定です。また、オープン前には、関係者への内覧会を実施する予定としています。

### 2 伊勢志摩サミット・アーカイブ事業

#### （1）公開済みのアーカイブ（インタビュー動画）

14件（3月14日現在）

#### （2）活動事例

・個別訪問結果【別紙2】



## 伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

### 1 設置目的

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を設置します。

### 2 設置場所

賢島駅2階（約295.7㎡ 別紙1－2参照）

### 3 オープン時期

平成29年5月下旬（予定）

### 4 基本機能

伊勢志摩サミットの概要を写真、映像、現物等で展示するとともに、賢島を起点とした周遊観光のための情報発信機能や次世代を担う子どもたちの学びの場を創出する機能を有するものとします。

また、来訪者に飲食及び物販を記念館や記念館と一体的に整備する喫茶スペースで提供することにより駅及び記念館利用者の利便性を満たす空間を創出します。

### 5 記念館の整備及び運営

#### （1）記念館の整備

記念館の設置に係る整備（賢島駅2階改修工事及び内装・展示設営等）は、伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）が実施し、その費用は県民会議が負担します。

#### （2）記念館の運営

記念館の運営は、志摩市が実施し、その費用は志摩市が負担します。

運営に当たっては、賢島駅2階の記念館設置箇所を近鉄（以下、近鉄グループホールディングス株式会社、近畿日本鉄道株式会社等、近鉄グループ企業について、いずれもすべて「近鉄」と表記。）から志摩市が借り受けます。

記念館の休館日、開館時間及び入館料については、以下①～③のとおり準備を進めており、志摩市の「伊勢志摩サミット記念館の設置及び管理に関する条例」案の成立を以って正式に決定する予定です。

#### ①休館日

原則年中無休

#### ②開館時間

午前9時から午後5時まで

#### ③入館料

無料

## 6 記念館の概要（案）

### （1）展示内容

サミット当日の雰囲気を感じていただくため、サミットで実際に使用した円卓や贈呈品等を展示するとともに、国際メディアセンターアネックスで使用された部材（檜柱、木製簾、木製黒壁）を記念館において使用します。

また、リピーターの確保を図るため、企画展示も行います。

（展示例）

- ①誘致活動に関する写真パネル展示
- ②誘致決定時の写真パネル展示
- ③首脳等身大記念写真等パネル展示
- ④首脳会議用円卓・椅子の実物展示
- ⑤公式記録の展示（写真パネル、動画）
- ⑥観光情報の発信
- ⑦首脳等への贈呈品等の実物展示  
（カップ&ソーサー、文箱&真珠付ボールペン、コアウツドの置時計等）
- ⑧サミットで使用された食材等の写真パネル展示
- ⑨県民によるおもてなしの様子写真パネル展示

### （2）体験型展示の充実

子どもたちにとって記念館が学習機会の場として魅力的なものとなるように、例えば、首脳会議用円卓・椅子に触れていただきサミットの雰囲気を体感していただくなど、体験型要素を取り入れた展示の充実を図ります。

### （3）飲食・物販

県民会議、近鉄、志摩市の三者間でその具体的な運営方法等について調整中です（飲食については近鉄に担っていただくこととしています）。

## 7 設置期間等

### （1）設置期間

日本における次期サミットの開催年まで設置することとし、その後の対応については当該設置期間の終了までの間に、県民会議、近鉄、志摩市の三者間で利用状況等を勘案し決定することとします。

### （2）県民会議資産の承継

県民会議の資産は、県民会議解散時に三重県に引き継ぐことを検討しています。その場合、記念館閉館時における賢島駅2階の原状回復義務もあわせて三重県に引き継がれることになるため、議決いただくことが必要と考えています。

## 8 階段昇降機の設置について

記念館へのエレベータの設置について、県民会議、近鉄、志摩市の三者間で検討を行ってきましたが、設置には賢島駅の大規模改修工事が必要であること等から、階段昇降機（車椅子ごと階段昇降可能なタイプ）を設置することとしています（オープン後、年内に設置見込）。

## 9 今後のスケジュール（予定）

- ・ 3月下旬：内装・展示案検討終了、賢島駅2階改修工事完了
- ・ 4月上旬：内装・展示設営着手
- ・ 5月下旬：内装・展示設営完了、記念館オープン







別紙2

平成29年3月14日  
サミット総務課

伊勢志摩サミット・アーカーライブ事業 活躍事例訪問(予定)団体

H29.3.13 時点

事業者名	地域	サミット開催時の取組	サミット開催後の取組(取材結果)	取材日・取材予定日	HPでの公開
1 日本太鼓財団三重支部	四日市市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30を超える団体、総勢1200名ほどが参加した、三重縦断太鼓ラリーを実施した。</li> <li>・IMC開所式において演奏披露を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットを契機に、新曲を作成した。</li> <li>・サミット開催の1年後などに、太鼓の演奏の企画を検討している。</li> <li>・沖繩、北海道の団体と太鼓、ハチをつなぐ連携の取組を実施することとしている。</li> </ul>	H29.1.25	H29.2.16
2 ときの会 岡安順子	亀山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁前花壇を、サミットのロゴマークをテーマに花で表現した。</li> <li>・花いっぱい作戦に協力した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットをきっかけに広まった花との取組を続けたいという多くの思いを感じる。</li> <li>・寄せ植え教室の講師を頼まれることが多くなるとともに、コンテストの応募も例年以上に増加している。</li> <li>・以前と比べて、玄関前に飾られている花の数が増えていると感じている。</li> </ul>	H29.1.27	H29.3.6
3 名前詩作家 村木 祐加子／似顔絵師 桐生 めぐみ	鈴鹿市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産のあかね材や伊勢和紙、鈴鹿墨を材料にG7首脳9人の似顔絵と「いせしまさみっと」の名前詩を書いたウエルカムボードを作成した。</li> <li>・同じ図案でポストカードを作成したほか、大門商店街にG7首脳の似顔絵を描いた看板を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ヶ月に渡って、県内各地でウエルカムボードの巡回展示を行った。</li> <li>・巡回展示の過程で、夫婦岩神社の赤い糸を使用した結婚式のウエルカムボードを作成した。</li> <li>・広島県の折り紙作家とのコラボや、桑名の行燈まつりでG7首脳陣の似顔絵展示を行った。</li> </ul>	H29.2.2	H29.2.16
4 社会福祉法人洗心福祉会	津市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミット開催決定を機に、法人内にプロジェクトチームとして「洗心サミット」を設置し、ボスターの掲示や国際交流プログラムの取組など、様々な活動を行った。</li> <li>・志摩市内の保育園の子どもたちが各国の大使館に手紙を送ったところ、ドイツ大使館から返事の手紙とともにプレゼントをいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀市内の障がい者施設の利用者が作成した「G7」宝船を、ドイツ大使にプレゼントのお返しとして贈呈した。</li> <li>・サミット開催後ちょうど1年となる今年の5月には、ドイツの総領事にお越しいただくことになっており、国際交流をすることができるようになった。</li> </ul>	H29.2.3	H29.2.16
5 有限会社べんのや酒店 志摩市	志摩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミットを応援するため、市民活動団体「賢島塾」と一緒に、県内地酒7銘柄を「G7/M」という統一したブランドとして立ち上げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初このブランドは年末までと考えていたが、風化させるのはもったいないため、現在も引き継ぎ続けている。</li> <li>・サミット1年後に伊勢で大きなイベントを企画しており、その後は、大阪・名古屋・東京で三重県の地酒をPRするイベントをしていきたいと考えている。</li> </ul>	H29.2.6	H29.2.20
6 南長野12志会	津市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢志摩だけでなく、山の方でもサミットを盛り上げようではないかということ、伊勢志摩サミットをテーマにイルミネーションを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の取組を機に若い方の参加にもつながって欲しい。</li> <li>・県等の取組に参加し、一緒に盛り上げを行うことにより地域おこしにつながってきたい。</li> </ul>	H29.2.7	H29.2.22

事業者名	地域	サミット開催時の取組	サミット開催後の取組(取材結果)	取材日・取材予定日	HPでの公開
7 尾鷲名水株式会社	尾鷲市	・海洋深層水を国際メディアセンターで提供し、飲んでいただいた。 ・写真でサミット応募したいという思いで、「伊勢・鳥羽・志摩・南紀熊野」をテーマに県内3カ所で写真展を開催した。	・海の水である海洋深層水、山の水である熊野古道水、両方飲んでいただき、その良さがわかる取り組みを行いたい。 ・写真展を通じて、静岡・四国・東北などのたくさんの方々と出逢いがあり、そういう方々に、三重に来てもらえよう、三重県のいいところを紹介したり、写真を送付したりしている。 ・8年間撮りためていた「お伊勢さん」の写真展の開催。4月5月にも写真展を開催予定。	H29.2.7	H29.2.27
8 写真家 川邊秀子	津市	・乾杯に使用された萬古焼酒盃を制作した。 ・県民会議へオリジナルデザイン酒盃を1000個協賛した。	・写真展を通じて、静岡・四国・東北などのたくさんの方々と出逢いがあり、そういう方々に、三重に来てもらえよう、三重県のいいところを紹介したり、写真を送付したりしている。 ・8年間撮りためていた「お伊勢さん」の写真展の開催。4月5月にも写真展を開催予定。	H29.2.8	H29.2.27
9 四日市萬古焼 醉月陶苑	四日市市	・県民会議からG7首脳へ贈呈したカップ&ソーサーを制作した。 ・サミット開催記念の展示会など応援イベントを実施した。	・乾杯に使用された萬古焼酒盃の複製版を制作・販売している。 ・新商品として京都の料理家とコラボして醬油さしを開発した。	H29.2.9	H29.3.3
10 三重ナルミ株式会社	志摩市	・ジュニア・サミット参加者が桑名の千羽鶴を体験した。 ・先遣隊夕食会で桑名の千羽鶴を展示した。	・三重テラスで切絵のワークショップを予定しており、ここで得たノウハウをビジネスに展開していく予定である。 ・サミットを買機に開発した商品が三重グッズデザインに選定された。	H29.2.10	H29.3.6
11 「桑名の千羽鶴」和紙取扱所	桑名市	・県民会議がG7およびアウトリーチ首脳へ贈呈したウエルカムメッセージのフレームを尾鷲ヒノキで制作した。 ・シエルバ机を尾鷲ヒノキで制作した。 ・開催記念フラッグスタンドを県民会議へ協賛した。	・桑名の千羽鶴を海外へ発信するため、英語版の折り方マニュアルの作成などに取り組んでいる。	H29.2.14	H29.3.10
12 ウッドメイクキタムラ	紀北町	・配偶者プログラムにおいて、国際メディアセンターで伊勢茶の手もみを実施した。	・展示会などで尾鷲ヒノキの製品をPRしている。 ・県立総合博物館で木工教室を開催した。 ・子どもたちに木材の魅力を伝えるため、万年カレンダーづくりなどの取組を計画している。	H29.2.16	H29.3.14
13 三重県手もみ茶技術伝承保存会	度会町	・生徒有志があいさつ運動を実施した。	・伊勢茶の魅力を生徒に広める取組を行っている。 ・伊勢茶の手もみ茶をポトリングして販売することを企画している。	H29.2.17	H29.3.10
14 志摩ハイスクールパトロール～アフターG7～(志摩高等学校)	志摩市	・「半蔵」が乾杯酒に採用された。 ・サミット開催記念セット、サミット記念ボトルを販売した。	・サミット後に「志摩ハイスクールパトロール～アフターG7～」を結成した。 ・警察と協力して防犯や交通安全の啓発活動を行っている。	H29.2.20	H29.3.14
15 株式会社大田酒造	伊賀市	・JR二見浦駅前の花壇に花を植えておもてなをした。	・全国で販売会などのイベントに参加し地酒をPRしている。 ・サミットをとおして生まれた各地域のさまざまな事業者との交流を活用していきたいと考えている。	H29.2.22	H29.3.16
16 二見まちづくりの会	伊勢市	・花いっぱい作戦に協力した。	・サミット後も引き続き花を植える活動をしており地域も拡大している。 ・防災などの活動に地域の人たちと取り組んでいる。 ・菓子博でも花でおもてなをする予定。	H29.2.24	H29.3.3
17 心のオアシス・桃源郷/くまの花いっぱいネットワーク	熊野市		・サミット後も継続して地域を花いっぱいにする活動を行っている。 ・今後は家庭の花畑を一般に開放するオーブンガーデン熊野などの花いっぱい運動をレベルアップさせて取り組んでいきたい。	H29.3.2	H29.3.16

事業者名	地域	サミット開催時の取組	サミット開催後の取組(取材結果)	取材日・取材予定日	HPでの公開
18 積木 孝典(グラフィックデザイナー)	津市	・県民会議第4弾公式ポスターをデザインした。	・サミット後、出身地である大台町から依頼があり、中学生向けに講演会を行った。 ・ポスターデザイン採用後、三重県の地域の魅力などに意識して、デザインするようになった。	H29.3.3	
19 はあぶ工房together	桑名市	・配偶者プログラムにおいて、シフォンケーキを配偶者へ提供した。	・農福連携事業「多度みかんプロジェクト」で収穫した無農薬みかんを「夢工房くまの」で加工してもらい、ジュースを販売している。	H29.3.7	
20 セントヨゼフ女子学園高等学校	津市	・外国語案内ボランティアとして活動した。	・国際情勢に関心を持つようになり、現在、フェアトレードと児童労働について自主的に学習している。 ・自分たちが住んでいる三重県のことを私たちがよく知らないことに気づき、三重の良さを発信する「salad days in mie」という活動を開始し、自分たちの世代が行くお店などを紹介している。	H29.3.9	
21 指勘建具工芸	菰野町	・県民会議からアウトリーチ首脳へ贈呈した文箱を制作した。	・第50回全国建具展示会で内閣総理大臣賞を受賞した。 ・まちかど博物館など、組子建具の魅力発信する取組を続けている。 ・建具だけでなく組子の魅力を発信できる製品の開発に取り組んでいきたいと考えている。	H29.3.10	
22 日本ボーイスカウト 伊賀第1団 カブ隊	伊賀市	・サミット学習会の開催やクリーンアップ活動に取り組んだ。	・神社スカウト大会で全国や台湾のボーイスカウトと交流した。 ・世界の国を学び、料理を作る活動をした。 ・同じエリアでクリーンアップ活動を行った。 ・これからも海外のボーイスカウトと交流できるイベントに参加していきたいと考えている。	H29.3.12	
23 伊賀酒DE女子会	伊賀市	・大田酒造、若戒酒造、森喜酒造場が、伊賀の地酒と食材の魅力発信する女性限定の食事会を定期的に開催してきた。		H29.3.14	
24 御宿 The Earth	鳥羽市	・鳥羽市が開催した海外プレスツアーに協力した。		H29.3.21	

